



危険と思ったら、安全な行動をとろう！

5月9日 千葉日報

JR外房線で脱線事故

運輸安全委 鴨川に調査官派遣

8日午後3時55分ごろ、鴨川市東町のJR外房線安房鴨川―安房天津間で、安房鴨川発千葉行き上り電車（6両編成）の先頭車両が脱線した。乗客・乗務員ら約20人が乗っており、このうち乗客1人が腰の痛みを訴えたが、救急搬送はされなかった。運輸安全委員会は同日、鉄道事故調査官2人を現地に派遣した。JR千葉支社によると、現場は安房鴨川駅から約2キロのほぼ直線。車両は進行方向の左側に傾く形で脱線した。乗客ははしごを使って車両を降り、約40分後に避難を終えた。事故の影響で一部区間の上下線の運行を見合わせ、バスによる代行輸送を行った。管内での脱線事故は、2011年3月に成田線で起きた貨物列車の横転以来という。

5月8日、外房線で脱線事故が発生しました。決死の中で停止手配を執った乗務員にケガはなく、幸いにも救急搬送されたお客さまはいませんでした。運転再開に向けては、各系統で夜を徹しての復旧作業が行われました。従事された全ての皆さんに深く感謝申し上げます。

一方、新型コロナウイルスでの社会的なストレスが高まり、それによる事件の報道も多くなっていることから、鉄道に対するイタズラなども懸念されます。警戒心を高めつつ、些細なことでも「報告・連絡・相談」を行い、危険を感じた際は最も安全な行動を行っていきましょう！

復旧に向けての作業に従事した皆さん！大変お疲れ様でした！
気がかりなことがあれば、分会役員へ連絡をお願いします！